

各報道機関文教担当記者 殿

## 金沢大学グローバルサイエンスキャンパス 新プログラム受講生の研究成果発表会および閉講式

金沢大学グローバルサイエンスキャンパス（GSC）（注）では、**高校生・高専生を対象に、将来グローバルに活躍しうる科学者・技術者の育成を目指し、国際的な活動を含む高度で体系的な理数教育プログラム**を提供しています。

このたび、令和2年10月から開始した新プログラムにおいて、第2、第3ステージへと選抜され、本学および連携機関である北陸先端科学技術大学院大学、石川県立大学の教員の下で課題研究を行った受講生の**研究成果発表会および閉講式を開催**いたします。

今回発表する受講生は、石川、福井、富山、岐阜、神奈川の5県から参加している高校生16名で、**約1年半かけて行ってきた課題研究の集大成として、その成果を披露**します。受入可能分野として、これまでの理・工・農学のほか、**今年度から新たに医学が加わったことから、より多様な研究テーマが展開**されると共に、**工学分野では後援企業の協力による研究も実現**しました。11月6日（日）に開催された**GSC全国大会においては、本学代表の研究1件が優秀賞を、2件が受講生投票賞を受賞**しました。

つきましては、下記のとおり研究成果発表会および閉講式を行いますので、**当日の取材・報道をよろしく**お願いします。

### ■金沢大学グローバルサイエンスキャンパス 新第I期生第3ステージ・第II期生第2ステージ研究成果発表会および閉講式

日時： 令和4年11月12日（土） 10:30～15:25

場所： 金沢大学自然科学大講義棟レクチャーホール（金沢市角間町）

概要： 10:30～10:35 開会挨拶

10:40～14:45 成果発表（口頭、途中11:45から昼休憩）

14:55～15:25 閉会・閉講式

※詳細は別添資料をご参照ください。

※報道関係者におかれましては、**10:00～14:30**に随時会場までお越しください。来場の際は、まず**会場受付**にて取材である旨お知らせ下さい。

（注）金沢大学グローバルサイエンスキャンパス（GSC）は国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）「グローバルサイエンスキャンパス」事業の一つとして採択され、本学が実施しているプログラムです。平成28年度に採択された4年間のプログラム終了後、令和2年度に再度採択され、現在新プログラムとして実施しています。

Webサイト：<https://gsc.w3.kanazawa-u.ac.jp>

<本件照会先>金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事務局 中村・和所

Tel：076-234-6860 E-mail：[gsc@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:gsc@adm.kanazawa-u.ac.jp)

金沢大学理工系事務部総務課総務係 廣田

Tel：076-234-6821 E-mail：[s-somu@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:s-somu@adm.kanazawa-u.ac.jp)



# 金沢大学

## グローバルサイエンスキャンパス (GSC)

～人類の未来をつくる独創的研究者の育成～

当プログラムは体験ステージ、第1ステージ、第2ステージ、第3ステージで構成されています。  
このたび、受講生が第2・3ステージで取り組んできた研究成果をスライドで口頭発表します。

### 新第Ⅰ期生 第3ステージ 新第Ⅱ期生 第2ステージ 研究成果発表会

2022年 11月12日(土) 10:30～16:20  
(受付開始10:00)

**会場** 金沢大学自然科学大講義棟1階 レクチャーホール

北鉄バス 金沢大学自然研前 下車

**主催** 金沢大学

**受講生  
所属高校**

金沢大学附属高等学校、金沢二水高等学校、七尾高等学校  
高志高等学校、敦賀高等学校、富山中部高等学校、  
横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校  
星稜高等学校、仁愛女子高等学校、多治見西高等学校

グローバルサイエンスキャンパス (GSC) とは、将来世界を舞台に活躍し、世界をリードする科学技術人材を育成するために、大学等と科学技術振興機構 (JST) が連携し、実施している事業です。金沢大学においても多くの高校生がプログラムに参加し高度な学習や様々なテーマの研究活動に取り組んでいます。



問い合わせ

金沢大学 グローバルサイエンスキャンパス(GSC) 事務局

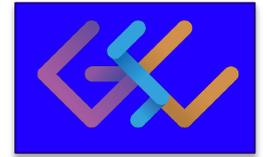
〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学理工系事務部学生課

TEL: 076-234-6860 FAX: 076-234-6844 e-mail: gsc@adm.kanazawa-u.ac.jp

Webサイト <https://gsc.w3.kanazawa-u.ac.jp/>



## 金沢大学グローバルサイエンスキャンパス (GSC)



### 新第Ⅰ期生 第3ステージ及び 新第Ⅱ期生 第2ステージ研究成果発表会

日 時 令和4年11月12日(土) 10:30~16:20  
(受付: 10:00~10:30)

会 場 金沢大学自然科学本館 大講義棟 レクチャーホール

実施形態 対面およびオンライン併用のハイブリッド方式

#### プログラム

|               |               |
|---------------|---------------|
| 10時30分~10時35分 | 開会の辞          |
| 10時35分~10時40分 | 事務連絡・実施要領確認   |
| 10時40分~14時45分 | 成果発表          |
| 10:40~11:45   | 第1グループ(6名)    |
| 11:45~12:30   | 昼食            |
| 12:30~13:30   | 第2グループ(5名)    |
| 13:30~13:45   | 休憩            |
| 13:45~14:45   | 第3グループ(5名)    |
| 14:45~14:55   | 休憩            |
| 14時55分~15時25分 | 閉会・閉講式        |
| 15時25分~16時20分 | 情報交換会・記念撮影・解散 |

金沢大学GSC 新第Ⅰ期第3ステージ及び新第Ⅱ期第2ステージ 受講生発表テーマ一覧（発表順）

| 出身県 | 学年 | 発表題目／研究テーマ <sup>注1</sup>  |
|-----|----|---|
| 福井  | 3  | In order to use Euglena more effectively<br>ユーグレナをより有効的に使用するために   |
| 石川  | 2  | The hormonal actions on chromatophores in the epidermis of the bigfin reef squid<br>アオリイカの表皮に存在する色素胞に対するホルモンの作用：in vitroにおけるバイオアッセイ系による解析                     |
| 富山  | 3  | Is it possible to relieve stress of flounder, Paralichthys olivaceus by lights?<br>ヒラメのストレスは光で緩和できるか  |
| 石川  | 2  | Amplification of vortex induced vibration in cylindrical structures<br>円柱構造物における渦励振振動の増幅  |
| 石川  | 2  | Sunscreen development using the nature of plant pigment<br>植物色素の性質を利用した日焼け止めの研究   |
| 福井  | 2  | Discrimination Ability for Yellow Flowers and Leaves in Insects Based on Optical Measurements and Behavioral Experiments<br>光学計測と行動実験から明らかにする黄花と黄葉に対する昆虫の弁別能力 |
| 石川  | 2  | Differences in lipid degradation may be involved in intervarietal difference of internal browning in Japanese radish<br>脂質の分解の難易性による大根の内部褐変症の品種間差             |
| 神奈川 | 2  | Characteristics in song of sounds attracting for some bird species<br>野鳥が反応を示す音の特徴  |
| 福井  | 3  | Seismic Reinforcement of Historic Wooden Buildings Using CFRTP Cables<br>CFRTPケーブルを用いた歴史的木造建築の耐震補強  |
| 石川  | 2  | Sound preferences of newts<br>～Evaluation of Newt Behavior Using T-Shaped Devices and Image Recognition System～<br>アカハライモリの音の選好～T字パイプ装置と画像認識システムを使った行動評価～     |
| 岐阜  | 2  | To Maintain the Youth of Skin Cells   |
| 岐阜  | 2  | Genetic Research of yeast   |
| 石川  | 2  | Independence of circadian rhythms in the sensitive plant (Mimosa pudica) between sites within an individual.<br>オジギソウ(Mimosa pudica)の概日リズムの個体内の部位間での独立性       |
| 石川  | 2  | Successful CPR<br>効果的な心肺蘇生法の提案  |
| 富山  | 2  | The light spot and SHG spot of crystal<br>水晶におけるSHGの発現場所及び光の照射位置  |
| 石川  | 3  | Research on Marine Biodegradability of Bioplastic film Mixed with Fish Scales ~Bioplastic's TABEROGU~<br>魚のウロコを混ぜたバイオプラスチックフィルムの生分解性を確認する                     |

注1：黄色セル内に示された発表題目／研究テーマについては、令和4年11月10日現在、中間報告時のものを記載。成果発表資料が届き次第随時更新予定。